

雲心月性

大槻ワールドへようこそ



Camnet マガジンをお楽しみにの皆様。マガジン版「雲心月性」です。大槻は岡山県真庭郡新庄村の内科診療所で一人医師として勤める5度目の梅雨です。穏やかな日常の中で、音楽や自然と向き合いながら、過ぎ行く時を楽しんでいます。

このコラムは二か月分なのでリアルタイムな様子ではなく、一年前の様子をお伝えします。



大型連休に広島日帰り。県立美術館、ブラック画材画廊、広島市現代美術館巡り。同業かつ画家の YK さんの作品展示もあるってことで。大好きな作風です。



5月の長島愛生園（ハンセン病施設）。ここは収容桟橋で隔離の入り口だった所。学生の見学で15年以上もお世話になりました。



ここは倉敷市水島のあさがおギャラリー。水島地区の大気汚染公害の資料館です。ここで「あさがおカフェ」、講話を聴いたり、カフェタイムを楽しんだり。



6月初旬、新庄村。少し伸び始めた稲の田んぼが青空を映しています。



以前所属していた日本臨床環境医学会…くらしき作陽大学のA教授が年会長で、教育講演をさせて頂きました。「村の診療所日誌」を演題に。



岡山県笠岡市内の「ギャラリー郷土の心」で KAZ さんとツーマンライブ。「雨」がタイトルに入った昭和歌謡を熱唱してきました。



信友直子監督のドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくおねがいします」の上映会、監督にもおいで頂いて、トークショーを村の「医療・福祉セミナー」として開催しました。大好評で今年は、本映画の続編の上映会を実施します。



さて、オリジナル曲の歌詞紹介。「水無月廿日」は、大槻の作詞作曲です。サブスクなどではリリースしていませんが、ネットラジオ「雲心月性」でリンク企画として、5、6月にそれぞれ別バージョンでピアノ弾き語りをする予定です。

水無月廿日 雨の街
小さな肩が ふるえてる
雨傘で隠して 涙ぐむ君に
一言 声を かけたくて

小指の先に 雨の糸
明日の夢を 編んでいる
雨雲の向こうに 俵せが見える
水無月廿日 梅雨さなか

水無月廿日 雨の街
ため息ばかり 数えてる
思い出が溶け込む この雨が止めば
微笑むことも 出来るなら

走っておいで 雨の途
涙の跡も 拭かぬまま
雨傘で隠して 抱き寄せてみれば
水無月廿日 梅雨さなか

水無月廿日 梅雨さなか

二か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまっていますが、国際平和や、天災からの復興を祈念しています。

プロフィール 大槻 剛巳（おおつき たけみ）

- 1956年：京都府福知山市生まれ
- 1970年：京都府陸上競技大会100mハードル2位・KBS近畿放送AMラジオでリスナーの歌詞採用
- 1972&75年：NHKあなたのメロディー出演
- 1974年：YAMAHAポプコン全国大会（譜面の部）出場
- 1977年：YAMAHA神戸との連携で楽曲制作依頼
- 1981～2021年：川崎医科大学血液内科～衛生学
- 1992～1996年：米国留学（ミネソタ大学&NIH）
- 1997&2024年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作・準佳作で「岡山の文学」に掲載
- 2009年：Camnetラジオ：パーソナリティー開始
- 2011年：Camnetマガジン：連載開始
- 2014年：サブスクにて自作自演アルバムリリース開始
- 2021年：新庄村診療所所長（現職）

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで